

東京 陵 水

平成18年度総会
特 別 号

総会会場は首相官邸に近い

キャピトル東急ホテル

平成十八年度陵水会東京支部総会は、五月十六日（火）、午後六時から、千代田区永田町二―十一三（電話〇三―三五一―四五一一）の首相官邸に近いキャピトル東急ホテル「白真珠の間」に於いて開催される。今回の当番幹事には大学十八回卒業生が当ることになった。

何かにつけて内々に集うことの多いクラブ、ゼミの仲間が、一堂に会する絶好の機会にしよう。各年次一名以上は必ず参加で同期会開催の契機にしよう。

日頃は殆ど接する機会がない先輩、後輩との貴重な意見交換と情報収集の場！。学友、寮友と笑顔で語る彦根への思いは多忙な日々の癒しの糧、若さの維持の源なり！。

法人化成った母校の未来は 陵水人の結束で決まる

特別講演に小倉栄一郎名誉教授のご子息、小倉昇筑波大学教授の演題は「真の企業価値経営への会計の役割」。（講演概要別記）当番幹事十八回生の同教授との縁によるご来演。

【開催概要】

○会 費 男性会員八千円
女性会員六千円

○次 第

①議 事 平成十七年度事業報告。同年度収支決算報告。監事報告。平成十八年度事業計画。同年度収支予算計画。其の他会費引落制度推進状況等。

②来賓挨拶 福田敏浩滋賀大学経済学部長

③祝 辞 堀川馨陵水会理事長
④特別講演 小倉昇筑波大学大学院教授

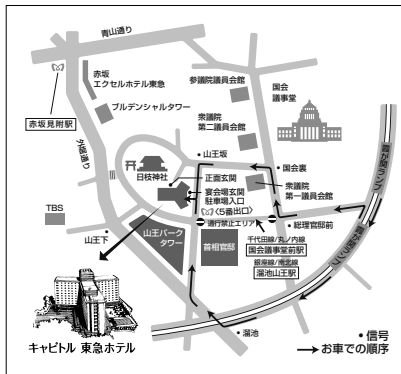
（会場模様替えによる休憩）

⑤懇親会 参加者全員

祝辞と乾杯 戸田一雄松下電器産業株式会社副社長（大十二回）



当番幹事代表
右から中村・岡本・小倉・今津の皆さん



交通のご案内
● 地下鉄【千代田線・丸ノ内線】国会議事前駅5番 出口正面
● 地下鉄【南北線・銀座線】溜池山王駅5番出口正面

陵水会東京支部平成十八年度 総会幹事を担当するに当たって

陵水会東京支部平成十八年度定時総会の運営においては、大学第十八回卒業生（昭和四十五年卒業）が、開催担当幹事を引き継ぐことになりました。幹事を担当するに際し、本部との窓口役として田中和夫君（松下電器）が先導をきったのですが、突然の発病のため同君の声がかりで、私中村嘉秀（ダイニチ）が幹事全体の指揮をとらせて戴くことになりました。そこでまず同期諸兄のご協力を得るため顔合わせの意味で、第一回の集會を昨年十一月八日に開催、岡田憲治（旭化成ホームズ）と吉村政彦（三井物産）の両君の協力を得ました。続いて第二回を十二月七日に開きました。村瀬尚文（博報堂）影山哲也（アルク）佐々木弘二（税理士）の各君が駆けつけてくれました。クラブやゼミの集まりに関心が高い反面、今まで東京支部総会に出た経験も乏しく、特に最近はお互いの職場多忙から顔を合わせる機会も少なくなっていたところでしたから、さあこれから肩を組んで円陣を作り、掛け声一杯のスタートになりました。

た。

先ず始めに、記念講演を誰方をお願いしようかと言うことを相談しました。滋賀大学経済学部で縁が深く、かつ現役の立場で極めて現代的なテーマに取組んでおられる方を講師にということから、筑波大学大学院教授、小倉昇氏にお願いすることになりました。小倉先生は、永年に亘り滋賀大学で簿記学、会計学の講義、ゼミナールをご担当され、近江商人の史的研究に業績を残された故小倉栄一郎名誉教授のご長男です（小倉昇教授の略歴は別記）。

講師をご依頼するには、小倉ゼミで栄一郎先生の教えを受けた私他同期ゼミ生が当たることになりました。栄一郎先生とのご縁、滋賀大学との誼をもって是非にとお願いしたところご快諾いただき、講演のテーマは、先生の意向にお任せすることになりました。

その後、二月十三日に宇治原東京支部長、守谷幹事長、鈴木広報委員長に面談いただきました。三月初旬には小倉先生から講演タイトルとして「真の企業価値経営への会計の役割」、講演概要（本紙掲載）をご連絡戴きました。講演内容は、企業会

計の不正な取扱いによって惹き起されている問題の多い昨今、大変興味深いものがあると思います。是非とも多くの会員の聴講をお願いいたします。尚先生の懇親会へのご出席も予定されておりますので、演題に関するのと同時に彦根生活なども話題にされて欲しいと思います。

三月十五日には「東京陵水」紙からの要請もあり、出席可能な幹事が集まりました。今津松男（双日リアルネット）、小倉好博（桜ゴルフ）、岡本文夫（衆議院議員政策担当秘書）の各君と私。その場では五月十六日の開催日に向けて具体的な実施の方向を話し合いました。

四月十八日に初めての在京同期会を開催し、総会の進め方、懇親会の内容、同期出席人数の最終的な確認、役割分担、十九回卒への次回幹事引継ぎ等について話し合うことになりました。

総会が多くの会員の皆様のご出席により、同窓生相互の交歓と今後の励みに少しでもお役に立つことを願い、成功を収めたと思います。宜しくご協力、ご支援をお願いします。

（中村嘉秀 記）

小倉 昇（おぐらのぼる）先生
現職…筑波大学大学院ビジネス

科学研究科教授

公認会計士試験委員（平成十六年から）・BSC

フォーラム副会長（平成十四年から）

昭和三十八年十月二十一日滋賀県彦根市に生まれる。

【略歴】

昭和三十八年十月二十一日滋賀県彦根市に生まれる。

昭和三十八年十月二十一日滋賀県彦根市に生まれる。

昭和三十八年十月二十一日滋賀県彦根市に生まれる。

昭和三十八年十月二十一日滋賀県彦根市に生まれる。



小倉 昇 教授

学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学。

昭和五十六年大分大学経済学部講師、昭和五十八年同助教授、昭和五十九年東北大学経済学部助教授、平成六年同教授、（この間、平成元年～二年アメリカ・イリノイ大学客員研究員）

平成十年筑波大学教授となり現在に至る。

【主要な研究テーマ】 バラン

ス・スコアカードによる戦略マネジメント、企業評価モデルと企業価値経営、環境会計情報の有用性など。

【主要著書・論文】『情報化への企業戦略——日立の事例研究』（共著、同文館、平成二年）。

『バランス・スコアカード徹底活用』（共著、日経BP社、平成十七年）。「日本企業に見る管理会計としての経済付加価値」（『会計』、平成十二年五月）。

「企業評価と管理会計情報」（『会計』、平成十三年四月）。

「環境に配慮した設備投資決定の課題」（『環境管理』平成十五年五月《三十九巻五号》）。「BSCと組織の学習能力」（『企業会計』平成十五年五月《五十五巻五号》）。

【講演タイトル】「真の企業価値経営への会計の役割」

講演概要…一九九六年から始まった日本版会計ビッグバンが、

ようやく一区切りをつけようとしています。日本の会計制度改革は、単に欧米各国の会計制度に日本の会計制度を近づけようというものではありません。一

九八〇年代に米国の皮切りに、経済先進国を巻き込んで世界的な規模で浸透した会計の新しい考え方を背景としています。そ

れは、利益最大化思考から企業価値最大化思考への転換ということですが、

利益最大化と企業価値最大化の違いというのは、一般人から見ればあまり大したことではないと思われるかもしれませんが、

しかし、年金会計の制度が新しくなった一九九八年には、退職一時金引当と年金積立金を併せて、最大の会社で八千億円（連結ベース）に上る金額が不足していることが明白になりました。一千億円以上の不足額が表面化した会社は数十社に上りました。また、りそな銀行の公的資金注入は、三千億円の規模で計上を予定していた「繰延税金資産」という、実態をよく知られていない資産項目について、監査法人から不適正であるとの指摘を受けたことが引き金になりました。

年金会計や減損会計、税効果会計など会計ビッグバンで新しくなった会計制度は、何千億円、何百億円という規模で、それまでの会計制度では見えなかった部分を明確にしてくれました。しかも、これらの項目はすべての会社と同じように出てくるのではなく、一部の会社で非常に大きな金額が明るみに出たとい

う点が重要です。もし、こういう情報が公開されないままであれば、関係者は間違った意思決定のために大きな損失を被ることになるわけです。

また、最近のエンロン社事件やライブドア事件は、会計制度の大きな変化に乗じた裏側の現象であるともいえることができます。制度改革の足並みの乱れやちよとした欠陥が、大きな犯罪の温床にもなります。これらの事件は、十年から二十年の月日をかけて欧米諸国や日本を取り組んできた会計制度改革に、まだまだ欠陥が残されていることを教えてくれました。エンロン社事件で明らかになった欠陥を繕うために、米国では内部統制制度の整備を急ぎ、日本でも早急に内部統制を充実させようとしています。

内部統制制度の充実が企業にとつては大きな負担にもなりませんが、マクロな視点で見れば、会計制度改革が目指している新しいビジネス社会の構築のためのコストであるとも言えます。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。

以上のような視点から、日本の会計ビッグバンに始まり内部統制制度のポイントまでのお話をさせていただきますと思っています。